

平成31年度仙台市標準学力検査分析結果の概要 (分析結果と指導改善の方策を集約したもの)

分析の結果、目標値を特に上回った部分を成果、下回った部分を課題としてまとめました。
(詳細は資料2を参照)

学年	教科	成果	課題	指導改善の方策(概要)
小学校3年	国語	① ものがたりの内容を 読み取ること。	① 話題に沿った質問を すること。	➡ 質問するための言葉を視点として提示し、質問の機会を設定することで聞き手に質問する必要感を持たせる指導を行う。
		② ちらしの内容を理解 すること。	② 与えられた条件に合 わせた文章を書くこと。	➡ 条件を提示し、「①できごと」「②くわしいようす」「③思ったこと」の構成で書く経験を積み重ねる指導を行う。
	算数	① 「計算とふくしゅう」 に関すること。	① 与えられた条件を 読み取り、到着時刻が いちばん早かった人が だれなのかを説明する こと。	➡ 時刻の前後を表す言葉を使用し、時刻や時間に関する言語感覚を養う指導を行う。また、問題解決型の学習を展開し、考え方を説明する場面を意図的に設定し、表現力を育てる指導を行う。
		② 「長さとかさ」に 関すること。	② 箱の形の辺の長さか ら、テープがはれるか どうかを説明すること。	➡ 箱(直方体)を作る活動に合同な面や同じ長さの辺を着色する作業を取り入れ、観察することで、面や辺の位置関係を具体的にイメージさせる指導を行う。
小学校4年	国語	① せつ明文の内ようを 読み取ること。	① 文の構成(主語・述語) について理解すること。	➡ 2年生での学習を想起させ、「主語・述語」の確実な理解を促した上で、修飾語を含んだ文の習熟を図る指導を行う。
			② 与えられた条件に合 わせた文章を書くこと。	➡ 考えや感想を書かせる際に、条件を提示し、条件に合わせた文章を書かせる指導を行う。
	社会	① 「工場の仕事」に 関すること。	① 地図中の方位を 読み取ること。	➡ 教室の壁面に方位を表示することで、方位の中心となる地点を体感的に意識させるようにする。また、地図の多様な見方を身に付けさせるために、特定の場所を中心とした方角の表し方も経験させるような指導を行う。
			② 地図中の交通の様 子について、市の土 地利用と関連付けて 地図を読み取るこ と。	➡ 地形や土地利用、交通の様子などを関連付けながら、地図の読み取り方を身に付けさせる指導を行う。
	算数	① 「長さ・重さ」に 関すること。	① かけ算の筆算に出 てくる数の意味を理 解すること。	➡ 筆算において、位ごとに縦に数字をそろえて書くことで、正しい計算ができることを理解させる指導を行う。
		② 「円と球・三角形」 に関すること。	② 棒グラフの目盛りの 大きさと最も大きい 値に着目して、棒グ ラフをかくことが できない理由を説 明すること。	➡ 棒グラフを様々な条件や視点で読んだりかいたりしながら、理解を深めさせる指導を行う。
	理科	① 「こん虫のからだのつ くり」に関するこ と。	① 実験結果から論理 的に考えたり、推測 したりすること。	➡ 問題解決の過程を大切にし、実験結果の共有の場において、意識的に児童に思考を促すような発問等を行うことで、論理的に考えさせる指導を行う。
		② 「風やゴムのはたら き」に関するこ と。	② 導線の正しいつな ぎ方を理解すること。	➡ 児童自身が回路図をかいた上で、実験回路を作る活動を取り入れた指導を行う。

学年	教科	成果	課題	指導改善の方策（概要）
小学校5年	国語	① 話し合いの内容を聞き取ること。	① 段落のまとまりを理解して、文章の内容を的確に読み取ること。	➡ 書かれている内容を読み取り、段落のまとまりとして捉えさせる指導を行う。
		② 「言葉の学習」に関すること。	② 情報を適切に読み取り、ポスターの文を書くこと。	➡ 示された資料と文や文章が関連付けられていることに着目させた上で、資料や文章で表されている内容を明確に押さえさせ、目的や形式に合わせた文章の書き方や、資料の取り上げ方ができるような指導を行う。
	社会	① 「安全なくらしー交通事故や事件」に関すること。	① 飲料水の確保のために、計画的に浄水場が建設されていることについて、資料を読み取り考えること。	➡ 資料から情報を読み取る技能を高められるようにするとともに、読み取った情報を関連付けて考える場を設けるような指導を行う。
			② 地図中の距離を表す目盛りを用いて、2つの地点間の距離を求めること。	➡ 地図の縮尺を理解させるために、児童にとって身近な地域の地図を使って指導したり、距離を表す目盛りの使い方を身に付けさせることができるようにするために実際の地図を使った測り方を指導したりする。
	算数	① 「計算のふくしゅう」に関すること。	① 除法の計算のしかたを工夫し、暗算すること。	➡ 被除数である3位数をどのように分けると乗法九九を利用できるか、操作活動を取り入れるとともに、数のまとまりを視覚的に理解させて、数の分解をイメージ化させるような指導を行う。
		② 「計算のきまり・変わり方調べ」に関すること。	② 折れ線グラフと棒グラフを読み取り、それを根拠に理由を説明すること。	➡ 「グラフのデータを正確に読み取ること」「読み取ったことを説明するポイントを確認する等、相手に伝わるように表現を吟味すること」と段階的な指導を通して、正確に説明できるようにする。
	理科	① 「1年間の動物のようす」に関すること。	① 示された方位から他の方位を推測すること。	➡ 方位磁針を使う際に補助的な機材を作成・活用することで、方位磁針の使い方や方位の理解についての定着を図るような指導を行う。
		② 「物の体積と温度」に関すること。	② 容器にふたがあると、蒸発した水は出ていかず内側に水滴がつくことを理解すること。	➡ 観察条件を密閉容器のみに限定して、容器内の水位を見やすいように工夫したり、実験開始時の水位の様子を写真で記録したりすることで、容器内の水の量について確実に捉えることができるような指導を行う。

学年	教科	成果	課題	指導改善の方策（概要）
小学 校 6 年	国 語	① 話合いの内容を聞き取ること。	① 物語文の内容を読み取りにおいて、情景描写に目を向け、心情の変化を読み取ること。	➡ 直接的に気持ちが書かれている部分だけでなく、地の文にも着目させ、情景描写から、登場人物の心情を読み取らせる指導を行う。
		② 報告文を書くこと。	② 与えられた条件に合わせた文章を書くこと。	➡ 読み手に印象付ける文章とはどのような文章なのかを考えさせた上で、様々な生活体験と関連させながら、理由付けをして文章にまとめていくように段階的に指導する。
	社 会	① 「日本の農業と水産業」に関すること。	① 日本の貿易相手国について複数の資料を読み取ること。	➡ 一つ一つの資料から読み取れることを詳しく確認した上で、それらの情報を関連付けて考えさせる指導を行う。
		② 「工業の生産と工業地域」に関すること。	② 身のまわりのメディアについて理解すること。	➡ 身のまわりのメディアがどのように情報を伝えているのかを整理させるとともに、情報の伝え方以外の特色を捉えさせることで、各メディアの特徴などに気付かせるような指導を行う。
	算 数	① 「単位量あたりの大きさ」に関すること。	① 図を使って、小数の除法の文章問題に合った式を立式すること。	➡ 問題から必要な情報を読み取り、自分で数直線図に表すことができるようにし、その図を手掛かりに立式できるような指導を行う。
		② 「合同・立体」に関すること。	② グラフ1が西町のグラフであることを、根拠を示して説明すること。	➡ 基準量と比較量の2つの数量の関係を理解できるようにした上で、グラフから割合を読み取り、読み取ったことを比較する学習を取り入れた指導を行う。
	理 科	① 「魚のたんじょう」に関すること。	① 顕微鏡を正しい手順で使うこと。	➡ 顕微鏡下で観察可能な「ミクロの世界」に興味を持たせたり、一つ一つの操作の意味を理解させたりするような指導を行うとともに、日頃から顕微鏡に触れるような環境づくりを工夫する。
		② 「流れる水のはたらき」に関すること。	② 実験の誤った個所を説明すること。	➡ ふりこの長さや往復する時間の関係を正しく捉えられるように、ふりこ全体の長さが変わると往復する時間も変わる体験活動を取り入れ、実感を伴った理解ができるような指導を行う。

学年	教科	成果	課題	指導改善の方策（概要）
中学校 1年	国語	① 漢字を読むこと。	① 登場人物の心情をとらえること。	➡ 登場人物の心情を行動や会話、情景描写などから読み取らせる。また、物語文全体を通して登場人物の心情の変化や物語の主題等を読み取らせるような指導を行う。
		② 与えられた条件に合わせた文章を書くこと。	② 自分の考えが伝わるように、図表を用いること。	➡ 用いる資料の効果と、資料が自分の意見のどの部分を補っているのかを考えさせるような指導を行う。
	社会	① 「明治時代～昭和時代」に関すること。	① 複数の資料を比較し、蘭学について把握すること。	➡ 蘭学の広がりや寄与した人物として杉田玄白らを取り上げ、その業績を調べさせる際に、中国の医学書と解体新書を比較する活動を取り入れた指導を行う。
		② 「世界の中の日本」に関すること。	② 豊臣秀吉の政治について、複数の資料をもとに考察し、その目的を説明すること。	➡ 検地と刀狩の内容と目的について表に整理し、項目同士を関係付ける活動を通して、武士と百姓の身分が明確に区別されたことを自分なりの言葉で表現させるような指導を行う。
	数学	① 「単位量あたりの大きさ・平均」に関すること。	① 単位量あたりの値を求める式がどのような大きさを求める式かを説明すること。	➡ 単位量あたりの大きさを求める除法と商の意味を考えさせるために、式の意味と場面や図と言葉を関連付けて捉えさせる活動や、求めた商の意味を考え、それらを比較する活動を取り入れた指導を行う。
		② 「いろいろなグラフの読み取り」に関すること。	② 比例の関係を、 x と y を使って式に表すこと。	➡ 文字を使って式に表し、整理することができるようにするために、具体的な事象から数量の関係を捉え、文字に置き換える活動や、文字を使って表現された文字式がどのような関係を表しているかを考える活動を取り入れた指導を行う。
			③ もとにする量が同じとき、割合が大きいほうが比べる量が大きくなることを、具体的に説明すること。	➡ 複合的なグラフから必要な情報を読み取り、その情報を関連付けながら考察させるために、割合を表すグラフと量を表すグラフについて、それぞれ対応する値がどこに示されているのかを捉え、整理する活動を取り入れた指導を行う。
	理科	① 「水よう液の性質」に関すること。	① 支点が力点と作用点の間にあるものを指摘すること。	➡ 様々な道具を実際に使用し、支点と力点、作用点の位置を確認しながら仲間分けをする体験を通して、支点、力点、作用点に対する理解を深めるような指導を行う。
		② 「電気の利用」に関すること。	② 実験からえんとつから出ていく空気の流れができる理由を説明すること。	➡ 複数の実験結果を比較し、そこから分かることを基にして、結論をまとめる経験を積ませる指導を行う。

学年	教科	成果	課題	指導改善の方策（概要）
中学校2年	国語	① 話し合いの内容を聞き取ること。	① 第1学年までに学習した漢字を書くこと。	➡ 日常動作や身の回りの事象そのものを表す語彙を充実させるために、生徒自身に短文を作らせながら、必要感を持って漢字を使用させる指導を行う。
		② 「文法・語句に関する知識」に関すること。		➡ 説明文の大きな構成を捉えることを土台として、文章の中心的な部分と付加的な部分、あるいは事実と意見の部分を捉える過程で、段落相互の関係や役割を明らかにできるような指導を行う。
		③ 資料を作成して発表すること。	② 文章の構成や展開を捉えること。	
	社会	① 「世界各地の人々の生活と環境」に関すること。	① ヨーロッパ州の農業の特色について、複数の資料をもとに考察すること。	➡ 世界の諸地域の学習の際に、複数の資料を読み取る視点を捉えさせるとともに、資料の比較を通して、地域ごとの特徴を考察する力を高めるような指導を行う。
		② 「世界の諸地域」に関すること。		➡ 年間を通して様々な資料に触れる機会を設けるようにする。また、テーマごとに他の時代と比較させ、歴史的事象の特色を多角的・多面的な観点から捉えるような指導を行う。
		③ 「古墳時代までの歴史」に関すること。	② 日明貿易の様子について、複数の資料をもとに考察し、その特色を説明すること。	
	数学	① 「空間図形」に関すること。	① 線分の垂直二等分線を作図し、三角形の面積を2等分する直線を作図すること。	➡ 頂点Aを通る直線で三角形の面積を2等分するには、底辺の長さを等しくすればよいこと、底辺の長さを等しく分けるためには、垂直二等分線の作図を利用すればよいことに気付くような指導を行う。
			② 度数折れ線の特徴を読み取り、説明すべきことについて数学的に説明すること。	➡ 度数分布表や度数折れ線、代表値などから読み取るような活動を繰り返すことで、有用感を持たせる。また、読み取ったことを伝え合う活動を増やすことで、自分の考えを表現する力を育成するような指導を行う。
	理科	① 「身のまわりの物質とその性質」に関すること。	① おもりがばねを引く力を矢印で表すこと。	➡ 単に作図の技能を習得させるのではなく、常に力による現象を「力のはたらき」で考えることができるような指導を行う。
		② 「水溶液の性質」に関すること。	② 化石から、地層が堆積した当時の環境や時代を推測すること。	➡ 地層の重なりや広がりや規則性を見いだしたり、地層を構成する岩石やその中の化石を手掛かりとして、過去の環境や年代を推定したりしながら、大地の成り立ちや変化を探究的に読み取っていく活動を取り入れた指導を行う。
		③ 「音の性質」に関すること。		
	英語	① 「リスニング（内容理解）」に関すること。	① 対話の内容を聞き取り、適切に応答すること。	➡ 教師と生徒のQ&Aに加え、生徒同士の即興的な会話の活動を帯活動として継続的に行うような指導を行う。
② 「さまざまな英文の読み取り」に関すること。		② 語形・語法を理解すること（否定の命令文）。	➡ 帯活動などを通して、計画的に既習の語法・語法を繰り返し復習させる場の設定を取り入れた指導を行う。	

学年	教科	成果	課題	指導改善の方策（概要）
中学校3年	国語	① 漢字を読むこと。	① 文章の構成や展開を捉えること。 ② 社会生活の中から問題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。	➡ 説明的文章において、キーワードや見出し、題名を基に文章の構成や展開について捉えさせる学習活動を適切に設定した指導を行う。
		② 文学作品の内容を読み取ること。		➡ 条件に合わせて、絵や写真や図・表などの資料と文章を関連付けながら読み解いていく学習活動や、資料を適切に用いて表現する学習活動を適切に取り入れた指導を行う。
		③ 与えられた条件に合わせた文章を書くこと。		
	社会	① 「日本の諸地域」に関すること。	① 関東地方の工業地域について、複数の資料を関連付けて判断すること。 ② 江戸時代の文化の発展に寄与した人物について、当時の政治や社会に関連する複数の資料から探究し、その内容を説明すること。	➡ 既習事項である他地域の工業の学習で身に付けた見方や考え方を生かしながら、地図を活用し、復習の資料を基に考察する力を身に付けさせるような指導を行う。
		② 「身近な地域の調査」に関すること。		
		③ 「明治時代」に関すること。		➡ 個々の資料から、必要な情報を読み取り、その情報から適切に判断して表現できるように段階的な指導を行う。
	数学	① 「連立方程式」に関すること。	① 証明されたことから、新たに分かることを選ぶこと。 ② 1次関数において、延長した直線のグラフから、おじさんが家に着く時刻を読み取る方法を証明すること。	➡ 仮定を基に、筋道を立てて結論を考える指導であり、証明を振り返り、証明の過程で見いだした事柄や証明された事柄に着目し、新たな性質を見付けるような指導を繰り返す。
		② 「図形の性質」に関すること。		➡ 数学的な表現を使ってお互いに説明し合う活動を取り入れることで、問題解決の方法を説明する力を身に付けさせるような指導を行う。
	理科	① 「化学変化」に関すること。	① 結露の原理から結露を防止する方法を考えること。 ② 熱量を計算し、エアコンの稼働時間がどのくらい短くなるのかを求めること。	➡ 日常生活で結露が起りやすい場面を取り上げ、どのような条件下で起こるのか、あるいは起りやすいのかという問題について、2つの条件に着目した仮説を立て、それらを制御するなどの検証方法を考えさせるような指導を行う。
		② 「電流の正体」に関すること。		➡ 授業の展開においては、探究の過程を意識し、生徒が身の回りの事象から課題を見だし、主体的に解決できるよう工夫を取り入れた指導を行う。
		③ 「日本の気象」に関すること。		
	英語	① 「リスニング（内容理解）」に関すること。	① 説明の内容と資料の情報・条件を基に適切なものを選ぶこと。 ② 対話の流れに沿った英文を書くこと。	➡ 一文一文の意味を確認するだけでなく、英文を全体で把握して、話の要点を理解していく活動を継続的に行うような指導を行う。
② 自分が今年になって買ったものについて、3文以上の英作文で書き表すこと。		➡ 基本となる会話における質問と応答の一定のパターンを定着させた上で、英語のやり取りに普段から慣れさせるために、単元を通して、または年間での指導の中で、適宜の帯活動として会話、応答の活動を取り入れた指導を行う。		